

資材紹介

車両のタイヤによって病原体が運び込まれるリスクを防止
車両消毒用MOVE(モーブー)マット



車両消毒用MOVEマット
(車両消毒マット)と
付属品の釘セット

鳥インフルエンザなどの家畜伝染病が流行するシーズン到来。農場を守るため、車両による病原体持ち込みを消毒マットで対策しましょう！付属の釘を使って固定するだけの手軽さなのに、耐久性が高く、長くお使いいただけます。

品名	仕様
MRK-0203	サイズ:2m×3m 厚さ5mm
MRK-0304	サイズ:3m×4m 厚さ5mm
MRK-0306	サイズ:3m×6m 厚さ5mm

【お問合せ先】
全農畜産サービス株式会社
TEL:03-5245-4871 <https://www.zcss.co.jp/>



表紙写真
合同会社喜納農場、長野県上田市の久保田千丈さんの農場の皆さんと関係者の皆さん

編集委員
三浦康治／中尾山隆司／剣持和幸／澤 明／佐藤由治／佐藤哲誠／
藤田和政／大畑博義／江崎尚二／泉瑞枝／柴田拓起／児玉博士／
笹渡翔／岩橋かをり／出雲智子／高橋光

発行元
JA全農畜産生産部推進・商品開発課
東京都千代田区大手町1-3-1
TEL03-6271-8236
FAX03-5218-2526

今回のテーマ

- ▶ 冬の寒さ対策で行っていることについて教えてください。
- ▶ 2022年に新たに始めたいことはありますか。

令和3年12月発行(隔月発行)※本誌の無断転載を禁じます

これからの季節に 備えて

厳しい寒さが続いています。
降雪が多い地域は雪害対策を、
少ない地域でも地面の凍結等に十分ご注意ください。

- ①大雪や吹雪等の悪天候時には作業を行わない。
- ②凍結した場合は、砂や融雪促進剤の散布を行い、転倒を予防する。
- ③物流の遅延に備え、あらかじめ飼料、燃料、家畜の飲水などを十分確保する。
- ④落雪による破損防止のため、畜舎軒下に置いてある機械類はできるかぎり屋内へ収納する。
- ⑤農協やくみあい飼料等への連絡手段を確認し、被災時には早急に対応できるようにする。

編集後記



今号の「共創するチカラ」はご覧いただけましたか？長野県上田市は真田氏発祥の地で、歴史ロマンに溢れた魅力的な街です。取材にご協力いただきました皆さまに改めてお礼申し上げます。
いよいよ今年も終わりが近づいてまいりました。来年こそは…、来年こそは…と先延ばしにしているいろいろなことを一つづつから達成したいです。来年こそは。
(S)

JA全農あおもりより
『桃じゃむ』
(260g×3本)



3名様

プレゼント

本誌に対するご意見や、読者アンケートにお答えいただいた方の中から、抽選でJAタウンに出品されている各地の名産品等をプレゼントします。申し込みはとじ込みハガキ・FAX用紙をご利用ください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

締め切り：2022年1月20日到着分まで

ちくさんクラブ21及びハガキ・FAX・メール、アンケートの個人情報保護法対応
ご提供いただいた個人情報は①誌面企画への反映、②質問に対する回答発送、③意見に対する確認作業、④プレゼント発送に利用いたします。また、この情報はJA全農からの情報提供を目的として利用させていただくこともあります。個人情報はJA全農個人情報保護方針に基づき厳重に管理いたします。詳しくは「JA全農ホームページ」にあります個人情報に関するご案内をご覧ください。<https://www.zennoh.or.jp>

読者の広場

明けましておめでとうございます。
皆さまにとって、2021年はどんな年だったでしょうか。
今回は1年の振り返りと雪害対策についてお聞きしました。

「読者からひと言」

- 「毎号楽しく拝見しております。限られたページで畜産に関する記事が詳しいので非常に参考になります。今後ともよろしくお願いいたします」
(徳島県・養豚 阿波とん豚さん)
- 「牛にかかわる仕事をしているが、豚や鶏のことも知れて良い。いつも楽しみにしています」
(青森県・肉用牛 小笠原 明さん)
- 「各都道府県が行っている、行政の畜産の振興策の例を教えてください」
(京都府・鶏 匿名)

※お寄せいただいたご意見・ご要望につきましては、誌面制作の参考とさせていただきます。
「読者の広場」には締め切り日までにいただいた分を掲載しています。

Q. 畜舎の雪害対策で行っていることを教えてください。

- 風防に限ります。
(長崎県・繁殖和牛 山口 智弘さん)
- 窓ガラスがある場所に、雪囲いをしてガラスが割れないようにしています。
(京都府・肉用牛繁殖 株式会社いちがお畜産)
- こちらの地域では雪は降りませんが、水道管の凍結予防として元栓を閉めます。皆さんもすでにされていると思いますが(笑)
(宮城県・繁殖牛 ちくさんクラブラブさん)

Q. 2021年はどんな1年でしたか。

- 牛温恵をつけたので牛のお産がとてもスムーズになり、助かっています。
(宮城県・肉用牛繁殖 谷口久敏さん)
- 和牛繁殖農家を始めて8年目。初めてわが家で生まれた子牛を繁殖母牛として別の農家の方に嫁がせることができました。今後が楽しみです。
(宮城県・和牛繁殖 もあいさん)
- 新型コロナの影響で例年よりストレスのある年でした。
(高知県・乳牛 匿名)



収穫祭で食す牛



体重測定の様子



モニターを真剣に見る生徒たち

見てみて！ うちの農場

vol.23

－高等学校編－

栃木県立鹿沼南高等学校



本校の牛舎では、肉牛を中心に繁殖牛、育成牛、肥育牛合わせて40頭と乳牛2頭の飼育をしています。肉牛では、和牛甲子園に向け、課題研究畜産専攻生6名と畜産部員11名を中心に、牛にとってストレスのない環境を整えるため、仲間と協力しながら飼養管理をしています。また、食育の一環で、全校生徒で収穫祭を行い、命の大切さや食料生産について学習を深めています。

農場で働くご家族、従業員の方々などを写真とともに紹介します。写真は農場内ならOK。写真には簡単な説明を書き添えていただき、お気軽に編集部までご送付ください。なお、写真の返却は致しかねます。あらかじめご了承ください。宛先は「〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JA全農畜産生産部推進・商品開発課/ちくさんクラブ21編集部」もしくは、eメール「zz_zk_chikusan_club@zennoh.or.jp」まで。